

ドリーム体験!ほんもの講座 劇団影法師の影絵劇を楽しみました

6月26日に美郷町公民館で「ドリーム体験!ほんもの講座」が開催され、町内小学校の3～6年生が、劇団影法師による影絵劇を観賞しました。この講座は、芸術観賞を通じて児童の感性を豊かにすることなどを目的に、ふるさと美郷応援寄付（ふるさと納税）を活用して毎年開催されています。

講座では、中国を代表する民族芸術のひとつ、「皮影戲」^{ピーインシー}が披露されました。動物の皮を材料とした色鮮やかな人形を使い、西遊記などを演じました。また、児童の代表が舞台上上がり、劇団員の指導を受けながら人形を操る一幕もあり、上手に上演できると盛大な拍手が送られていました。



迫力ある演奏に酔いしれました 陸上自衛隊第9音楽隊コンサート

6月29日に美郷町公民館で陸上自衛隊第9音楽隊コンサートが行われました。コンサートは2部構成となっており、第1部では「自由の鐘」や「威風堂々」などの壮大な曲が演奏されました。平成26年度の秋には国民文化祭「アクアジャズフェスティバルin美郷」が開催されることから、第2部では「インザムード」や「ミッドナイトユーフォニアム」などのジャズナンバーを披露。軽快な曲調に手拍子で応えるなど、集まった約400名の聴衆は大満足の様子でした。



美郷産のおいしい牛肉、うさぎとのふれあい 美郷町べごっこまつり

6月29日に大台野広場イベント棟で美郷町べごっこまつりが開催されました。美郷産牛肉販売会に訪れた皆さんが朝から長蛇の列をつくったほか、会場に設けられた焼肉コーナーには多くの家族連れが集まりおいしい牛肉を堪能しました。会場内には、畑屋うさぎ共励会やうさぎふれあいコーナー、奥羽真昼太鼓演奏などの様々なイベントが行われ、町内外から訪れた多くの人たちでにぎわいました。



9月1日まで学友館で開催しています 特別展「泉谷玄作展 風景と花火の軌跡」

7月6日より学友館で特別展「泉谷玄作展 風景と花火の軌跡」が始まりました。今回の特別展では、美郷町在住のプロ写真家・泉谷玄作さんが長年撮影を続けてきた花火の写真や、八幡平や秋田駒ヶ岳等の風景写真、写真を使ったオブジェクトなど約100点が展示されています。

開展初日には泉谷さんが来館し、訪れた人達に展示された作品をそれぞれ解説。1枚の写真撮影に数カ月以上も費やしたエピソードなどを交えながら「多くの人に感動を伝えるには魅せる空間づくりが大切」と作品に込めた熱意を語ってくれました。特別展は9月1日まで開催しています。



歴史ある町並みを満喫 お寺巡りが開催されました

7月6日にお寺巡りが開催され、町内外から約30名が参加しました。お寺巡りは、多くの寺院が集まる町並みや文化について広く知ってもらおうと美郷町観光協会が開催しており、13回目となる今回は六郷地区西側の5寺院を巡りました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、普段は入ることのない各寺院の本堂を拝観したほか、歴史を感じさせる建造物や樹木などの景観を満喫しました。お寺巡りの最後には、廣照寺の住職代務者の藤井さんによる法話が行われ、ユーモアを交えたお話に参加者たちは熱心に聞き入っていました。



新生ふるさと会の創立を祝って 秋田・美郷町ふるさと会総会

7月7日、東京都内の会場で約300名の会員出席のもと「秋田・美郷町ふるさと会設立総会・懇親会」が盛大に開催され、町からは、松田町長、高橋議長らが来賓として出席しました。

総会では、会則や事業計画等が満場一致で可決され、会長には旧在京六郷会会長の石川明美氏、副会長には旧千畑ふるさと会会長の鈴木鷹雄氏と旧仙南ふる里会の伊藤正伸氏が選任されました。石川会長は、三地区の歴史について触れたうえで「一体となって新会の発展のため頑張っていこう」と意気込みを述べました。その後の交流会では、美郷町のスライドショーの放映や、美郷町の特産品の販売などが行われ、会の最後には会員のハーモニカ演奏に合わせて全員で「ふるさと」を合唱し、ふるさと美郷への思いをはせました。



希望という名の実践

美郷町長 松田知己

風



七滝「水の森」植樹で植樹を行う松田町長(写真中央)と、東京生業協会の藤井隆太会長(写真左)、日本航空秋田支店の天川谷茂支店長(写真右)

しかし、よくもまあ降り続いた7月でした。それまでの少雨から一転、まるで溜めていた雨をここぞとばかりに振り撒いてくれた感じでした。異常気象もここまでくると末恐ろしくなりませんが、今後は真に「平年並み」の順調な気象推移を望みたいものです。

一方、こうした不順な天候を尻目に、誠に順調に推移した催しが先月、東京において開催されました。首都圏における第一

回美郷町ふるさと会です。改めて在京の各会統合に合意、そして設立を実践いただいた役員及び統合準備委員会、更には各会関係各位の先見と尽力に心から感謝と敬意を表します。

申すまでもなくこの度の美郷町ふるさと会は、美郷中学校の卒業生誕生を踏まえて設立され、数年後に首都圏に転出するかも知れない子供たちが「心ひとつに」飛び込める組織です。このことは、美郷町の未来にプラスの影響力を持つと私は考えています。ちなみに今回の統合をもって、町に関係する同質の団体は全てまとまりました。本当に嬉しい限りです。

そして今月、さらに嬉しい出来事が待ち受けています。今年42歳の厄払いを行う年代の方々

が、自発的に旧3中学校合同で会を催すとのこと。私はその自発性に心から感動いたしましたし、やはり美郷町の良き未来を想起せずにはいられませんでした。それは、今回の実践の底流に、美郷の未来に向けた確かな想いが流れているからです。今回の取り組み、美郷町ふるさと会の誕生と同様、間違いなく美郷の未来に向けた希望のひとつです。ちなみに、合併自治体でのこうした実践、私は伺ったことがありません。町民各位で築いてきた美郷町の歩みに、改めて自信と誇りを持ちたいところです。

過去があるから現在があり、現在があるから未来があるわけですが、過去を大切にしながらも現在をもっと大切に、現在を大切にしながらも未来はもっともっと大切に、必要だろうと思います。某放送局の「あまちゃん」流に言えば、過去「現在」未来の大切さや重みは、「じえ」——「じえじえ」——「じえじえ」の感じかも知れません……。